



Title	彙報
Citation	北方言語研究, 11
Issue Date	2021-03-20
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/80933
Type	bulletin (other)
File Information	NoLS11_05_Information.pdf



[Instructions for use](#)

彙報

日本北方言語学会 第3回大会

日時：2020年11月7日（土）

会場：オンライン開催

【池上二良先生ご生誕100年記念講演の部】

金 周源（韓国・ソウル大学）

「韓国の北方言語研究の現状と展望」

【研究発表】

菱山 湧人（東京外国語大学大学院）

「チュヴァシ語の所有文について」

植田 尚樹（京都大学）

「モンゴル語ハルハ方言の/o/と/o/の合流 —知覚実験に基づく検討—」

山越 康裕（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

「ツングース諸語の4分類はいつから構想されていたのか

—AA 研所蔵田村資料から見える池上二良先生の分析の記録—」

風間伸次郎（東京外国語大学）

「アルタイ型言語における補助動詞の分布について」

小野 洋平（放送大学大学院）

「言語学における「数量化」を再考する

—北方諸言語の言語地理学と言語類型論の対比を通じて—」

落合いずみ（北海道大学）

「アイヌ語の20進法再考 —下方算法から上方算法への切り替え—」

児倉 徳和（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

「シベ語における情報構造再考 —「焦点」を中心に—」

山崎 雅人（大阪市立大学）

「満洲語文語におけるモダリティ表現としての -ra/re/ro + bihe について」

【総 会】

- ・役員（2020～2021年度） 会長：呉人 恵、事務局長：江畑冬生、幹事：児倉徳和、堀 博文、顧問：津曲敏郎
- ・第4回大会 & 国際シンポジウム
2021年11月に北海道立北方民族博物館（網走市）での開催を検討中
- [報告] 会員数 53名（2020年11月7日現在）

日本北方言語学会 入会案内

- ①年会費：当面徴収しない
- ②入会資格：北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を2本以上公刊していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。
- ③活動内容
 - ・研究会および国際シンポジウム等の開催
 - ・学会誌『北方言語研究』の刊行（投稿は会員に限る）と会員への無償配布
 - ・学会HPおよび会員MLによる情報交換
- ④入会申込：以下について下記事務局あてにメールで通知（随時受付）
 - ・氏名
 - ・所属
 - ・送付物受領用住所
 - ・eメールアドレス
 - ・研究業績（2点）または推薦者（氏名/eメールアドレス）
- ⑤事務局：江畑冬生（新潟大学人文学部） hoppougengo-owner@googlegroups.com